

RoHS Compliant $Cd \leq 75ppm$

REMARKS BRASS: $Cd \leq 75ppm$
PHOSPHOR BRONZE: $Pb < 4wt\%$

7	圧着スリーブ	黄銅	1	Ni		尺 3/1	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名
6	中心コンタクト	黄銅	1	Au			石	檜	山	三	SMAP-5F BA
5	本体	黄銅	1	Ni			'20,08,26	'20,08,26	'20,08,26	'20,08,26	
4	保持リング	ステンレス	1	--			川	澤	本	村	
3	ガスケット	シリコンゴム	1	--		単 位 mm					
2	接続ナット	黄銅	1	Ni		日 付 2020.08.26	投 影 法				
1	絶縁体	テフロン	1	--							
番号	部 品 名	材 質	数 量	処 理	備 考						図 番 I-1115711

仕 様 書

品 名 SMAP-5FBA

No. 1112238

図 番 I-1115711

定 格 1 参考規格 JEITA RC-5234

2 定格電圧 AC 500V

3 定格周波数 6GHz

4 公称インピーダンス 50Ω



株式会社 **トーコネ**
TO-CONNE CO., LTD.

	項 目	条 件	規 格
1	構造形状	添付図に示す (図番 I-1115711)	異常のないこと
2			
3			
4	電気的特性	絶縁抵抗	DC 500V 5000MΩ 以上
5		耐電圧	AC 750V 1 分間 異常のないこと
6		接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて 中心コネクタ間 3mΩ 以下 外部コネクタ間 4mΩ 以下
7		電圧定在波比	DC～4GHzまで 4GHzを超えて6GHzまで 1.2以下 1.3以下
8	機械的特性	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
9		ケーブル引張強度	軸方向引張力147N以上 異常のないこと
10		結合部接続強度	軸方向引張力180Nを加えたとき 接続ナットに 異常のないこと
11	耐候性	防水性	IPX7(糊付き収縮チューブ使用の条件とし 嵌合部に関しては嵌合防水とする) コネクタ内部に 浸水がないこと
12		適合ケーブル	5D-FB(四国電線) 5D-FB-LITE(フジクラ・ダイヤ) L-5DFB(カナレ電気)

	変更履歴	日付
1	適合ケーブル L-5DFB(カナレ電気)追記	2020.09.30
2		
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
三 20.09.30 村	山 20.09.30 本	檜 20.09.30 澤	石 20.09.30 川

GKQM-7

SMAP-5FBA 取付仕様書

図番
I-1115711

株式会社 トーコネ
TO-CONN CO.,LTD.

製図	検図	承認	確認
井 出	石 川	檜 澤	三 村
'25,08,06	'25,08,06	'25,08,06	'25,08,06

適合ケーブル

△ 5D-FB(四国電線)
5D-FB-LITE(フジクラ・ダイヤ)
L-5DFB(カナレ電気)

部品構成

シェル 中心コンタクト 圧着スリーブ

専用圧着工具
TA-35
(本体表示: 53-8242)

番号	変更・記事	日付	確認
△	適合ケーブル L-5DFB(カナレ電気)追記	2020.09.30	田本
△	防水使用時のり付き収縮チューブについての注記 追記	2025.08.06	曾根

① 同軸ケーブルへ圧着スリーブを通し、シース、外部導体、アルミ箔、絶縁体を図中の寸法で切りとる。
※ケーブル絶縁体に切粉など附着物が残ってないか確認をすること。

② 中心コンタクトを内部導体に装着して、ハンダ付けをする。
注意 1.ハンダが盛り上がらないこと。
2.中心コンタクトと絶縁体の間に隙間がないこと。
ハンダ付け後、中心コンタクトを引っ張り抜けないかを確認すること。

③ シェルを同軸ケーブルのアルミ箔と外部導体の間に挿入する。
(奥まで挿入後中心コンタクトが定位置に入ったことを確認する。)

※アルミ箔付きのケーブルはめくれ等変形の無いように注意し、外部導体のみ外側に出すこと。

④ 装着が終わったら、圧着スリーブを図の位置まで上げて圧着工具のA部で圧着して作業を終了する。この時、図中の位置で寸法を測定し、クリンプハイトにより工具の強度調整用ダイヤルを設定して作業を行なう。

測定位置でのクリンプハイト8.53~8.69mm

△ 注：防水で使用する場合は、左記で示した範囲にのり付き熱収縮チューブで加工する。
この時、熱収縮チューブ両端の“のり部分”がコネクタ及びケーブルに1周密着していることを確認する。

強度調節ダイヤル

△ 防水で使用する場合は、この範囲をのり付き熱収縮チューブでしっかり覆うこと

TA-35圧着工具 ご使用上の注意

(本体表示：53-8242)



株式会社 トーコネ
TO-CONNE CO.,LTD.

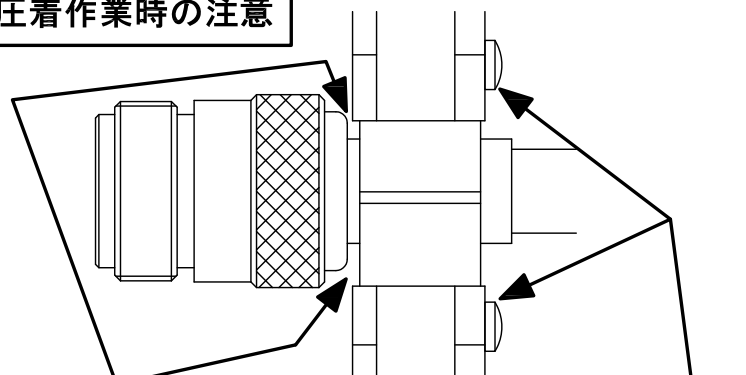
作成 確認

山
'12,11,14
本

檜
'12,11,14
澤

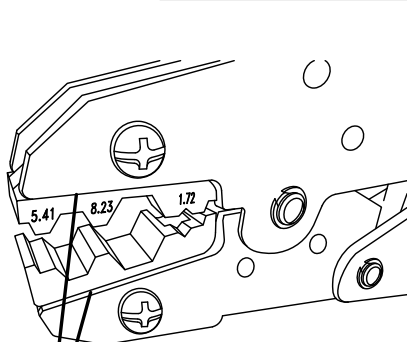
◆TA-35圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。
コネクタの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクタにキズがつく場合があります。

圧着作業時の注意

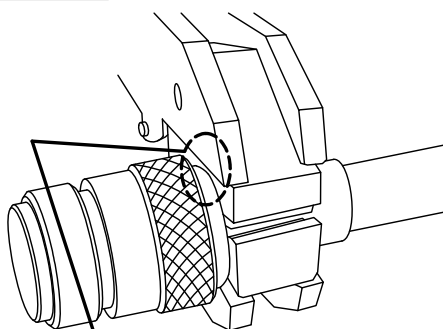


① フレーム部に当たらないように
ダイスとの隙間に注意 **※注1**

② ネジ部に当たらないように注意

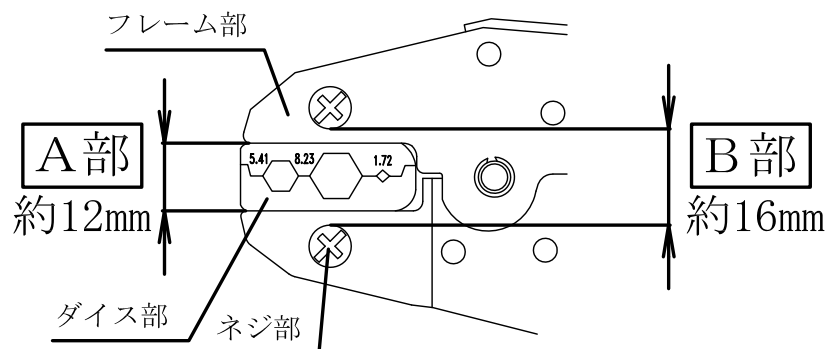


フレーム部は両面共に注意すること



A部

ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクタの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクタは接触しないよう注意が必要です。



B部

圧着部付近が16mmを超えるコネクタは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。

※注1

仕上がり状態で、下記範囲が1.5mm以下になるように作業をおこなってください。

